

遠来の友、23期・級友と54年ぶりの再会

2018年7月29日

23期・畑地 豊

7月某日、

関東のある工業地帯内にある某大手の顧客をビジネス商談で訪問することになった。かねてから同期の級友がこの市内に住んで居ることを承知していたので、いつかこのような機会があれば会ってみたいものだと思っていた。

2017年4月に23期幹事4名が北辰会にデビューしたと言っても過言では無いと思っているのであるが、それ以降23期同期会内部の住所判明率の向上に、またメール等連絡網の拡充に注力している。

関東在住の方々とは“地の利”とは言うもの

の、やはり「大阪に集う」ことには“一線を画す”ことは否めない事実である。ならば機会を捉えて彼らをその地に訪ねて「会う」ことを実践しようという気持ちを持つことになるのである。



H30年盛夏を元気に活動される畑地さん

東京行き新幹線での思い立ち

同期の数人にメールして彼の連絡先を教えてもらった。会いたいものだと思っている割には用意の悪いことこの上ない。彼と連絡が繋がった。環境ボランティアの会議が3時半ごろ終わるのでそれ以降ならOKとのことだった。こちらも好都合のタイミングであった。突然の電話にもかかわらず多忙な中で時間を割愛して頂いた。有りがたいことである。まさに54年ぶりの出会いであったが、彼の出身地を語らしめるであろうその訛りは簡単には変わっていなかった。彼の良心、誠実さを象徴していると思った。

「大金鶏菊/オオキンケイギク」

その工業地帯行き的高速バスの道端で白いユリの花が自生していて目を和ませてくれた。スマホで名前を調べたら「ニワシロユリ」と判明した。外来種で台湾方面から渡来したのだそう。彼にその話をしたら、彼は今地方自治体に取り組んでいる「大金鶏菊」の駆除にボランティアで全面応援をしていることを情熱的に語りだした。

河川の土手やあちこちの空き地などにも旺盛に繁殖して在来種を滅ぼしかねないとのことであり、その弁舌ぶりはあたかも“親の仇を取ってやるぞ”と言わんばかりの感じで、健康的に日焼けした顔がそれを物語っていた。私と54年ぶりに会えた感激などセンチメンタルな感情などは微塵も忘れ去られた勢いで彼の当座の天敵であろう「大金鶏菊」の話が主役となった。

彼をこれほどまでに“とりこ”にしている「オオキンケイギク」を調べて見た。まことにあちこちで見かける「濃い黄色、オレンジ色のコスモス」のような花である。自宅近くの「高槻・芥川」の遊歩道沿いで良く見かけるあの綺麗な花が彼の“天敵“なのか！

これが群生していると「ラベンダー畑」に負けずとも劣らない圧巻を覚え、私などは感動すら覚える。殺風景な雑草の土手を見るよりもこんなきれいで強靱な「オオキンケイギク」があちらこちらに増えて広がってくれば、無料の「大お花畑」が登場し、どれだけ心が和むことになるで

あろうか！ 往事の「セイタカアワダチソウ」の悪態の比では無い。

しかしここでふと思う。自分のこの花に対する感情が、彼にとってははにつつき当座の「天敵」なのだ。これは「54年ぶりの感激」どころか、こちらが「天敵」にされないように今後の会話に気配りをしないとイケない！

北野高校の地元である大阪

大阪を中心に北辰会の運営に積極的に行動しているみんなに気を遣って頂いたのであらうと思われる言葉を掛けて頂いた。

「みんなの努力には常日頃有りがたいと思っている。なかなか参加や出席が出来ていないことも気にはなっている。しかしこの土地で長く生活しているとどうしてもこの土地と人々とのつながり、組織との関係が大きくなってしまっている。母校は遠くにありて思うものになってしまうことは否めないのです。」この言葉を聞いてこれは真実の声であり現実なのだ、大阪在住者はこのことをしっかりと受け止めてお付き合いしないとイケないと思った。お別れの前に「せめてホームページには頻繁にアクセスして頂き、反応のお便りなどを頂きたいものです。」とお願いした。

彼にまたの再開を期して別れを告げ、

其処から東京八重洲口行き「高速バス」に乗った。道中の道路端に綺麗な「ニワシロユリ」が目に飛び込んでくるが、「オオキンケイギク」は1本たりとも発見できなかった。彼を筆頭にボランティアの方たちが広範囲に活動され「はにつつき天敵」を根こそぎ退治している姿が頭を過ぎった。心地よい揺れで一眠りしていたら東京に着いた。

後日彼にお礼のメールを差し上げた。

「北辰会」は西日本在住人が多いのは何とも致し方の無いことです。遠く関東で生活されていますと自ずと関東中心の生活に固まるのは必然の理であります。このことに棹さすつもりは毛頭有りません。しかしながら「遠くにありて故郷を想う」気持ちは人間だれしも等しく有しているものでありましよう。

たまには「北辰会」のホームページにアクセスして頂き、母校卒業生の生き生きとした生き様を眺めてやって下さい。特にここ1年ほどは23期生の活動もホームページを賑やかにしています。懐かしい顔写真に遭遇されることもあると思います。

「会の活動は皆様からの「賛助金」で運営されています。またよろしく！」

注1. 本人の希望もあり彼の名前は伏せさせて頂いています。



写真 「オオキンケイギク」 / YAHOO 検索から借用